

## さくらひめ鉢物の高品質安定生産を目指して

県育成品種のデルフィニウム「さくらひめ」は、切り花用品種として育成されましたが、中予地域では平成 29 年から鉢物としても栽培が開始され、現在 14 人が栽培に取り組んでいます。産地戦略推進室では「さくらひめ鉢物産地づくり推進事業」（局予算）により、産地化に向けた取組みを支援しています。

講習会や実証ほの設置等を通して、自家育苗技術や鉢物に適した草姿にするための摘心技術等を生産者へ普及しています。また、県外の主要な花市場や消費者を対象にアンケート調査を実施し、品質への評価や改善点、今後の取扱意向等を確認しました。

当室では、これらの取組みで得た結果を今後の生産に繋げるとともに、SNS等を活用した情報発信により、認知度の向上と販路拡大を図ります。

「さくらひめ」の栽培に興味のある方は、当室まで御連絡ください。



新規生産者対象の自家育苗講習会



ハウスで情報交換を行う鉢物栽培セミナー参加者



キャンペーンを利用した消費者ニーズ調査の実施

## 愛媛県食材の魅力と「食と農」の大切さを伝えて！

愛媛県農山漁村生活研究協議会は、平成 19 年度から県の「えひめ食農教育推進事業」の委託を受け、ふるさと料理などのえひめ食文化普及講座や保存伝承活動を実施し、学童や消費者に県産食材の魅力と「食と農」の大切さを伝えています。ここでは、中予の 3 地区の生活研究協議会が実施している特色ある食農教育活動を紹介します。

### 【松山地区】



松山市の庄地区で、親子を対象に、地元野菜の庄大根の紹介や庄大根を使った豚汁等を作りました

### 【伊予地区】



伊予市の北山崎小学校では、鯛のさばき方を見学した後、鯛めし、芋炊きを作りました

### 【久万高原地区】



町協議会では、稲穂からご飯をテーマにしたディスプレイを作成し、町内の全小学校、幼稚園に配布しました。

**ふるさと料理や手作り加工品の作り方は、インターネットでも配信しています♪**

☞ 「愛媛県農山漁村生活研究協議会 YouTube」をぜひ、ご覧ください！

[https://www.youtube.com/channel/UCyP1R\\_SVAkKnr3B6KGJm2RA](https://www.youtube.com/channel/UCyP1R_SVAkKnr3B6KGJm2RA)

## 意見発表会で中国四国ブロック最優秀賞に！

久万高原町青年農業者連絡協議会（会長：森優樹、会員 34 人）の山路隼之介さん(27)が、第 53 回中国四国地域若い農業者のつどいの意見発表部門で最優秀賞を受賞されました。山路さんは県外から久万高原町に移住し、2年間のトマト栽培研修を受けた後、令和3年4月からトマト栽培をスタートさせたばかり。受賞について「うれしい、今後の励みになる」とにっこり。3月上旬に開催される全国大会に中国四国代表として参加します。



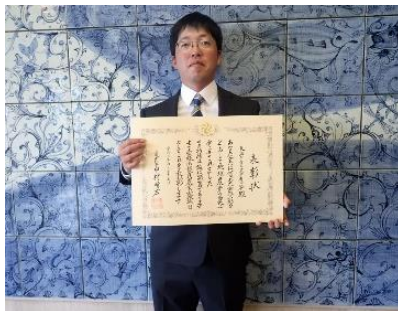
山路隼之介さん



トマト苗を管理する山路さん

## 東温市青年農業者協議会 知事表彰を初受賞！

東温市の青年農業者 29 人が組織する「東温市青年農業者協議会(会長：海稻正人)」が、愛媛県優良農業実践集団知事表彰を受賞されました。当協議会は、プロジェクト活動として市場価格に左右されにくいエスニック野菜の栽培技術・販売方法の検討等を行い、地域の活性化に努めたほか、地域貢献活動としてどてかぼちゃの出品等を通じて全国の生産者との交流を図っており、今後も地域を引っ張るリーダーとして、活躍が期待されます。



海稻 正人さん



どてかぼちゃカーニバル(R元年)

## ひろたふきのとうグループ 知事表彰受賞！

砥部町の「ひろたふきのとう」グループ(会長：向井京子 会員 8 人)が、長年の地域貢献活動を評価され、令和3年度愛媛県優良農山漁村生活研究組織知事表彰を受賞されました。当グループは、米粉パンやピザ、餅、菓子類を製造する起業活動をはじめ、食文化普及や技術伝承の食育講座、子育て支援、都市住民との田舎暮らし体験交流等の幅広い活動を展開しています。今回の受賞にメンバーは、「長年続けてきて良かった。今後も広田の魅力発信に努めます」と笑顔で応えてくれました。益々のご活躍を期待しています。



ひろたふきのとうのメンバー



小学生とふるさと料理づくり



こんにゃくの技術伝承